

獅子島ウォークで島中にぎわう

獅子島で心と体をリフレッシュ



- ①参加者を癒した七郎山からの眺望
- ②花火の合図で一斉にスタート
- ③コース序盤。色づいた甘夏を眺めながら
- ④山頂までもう少し。「この階段キツイ〜」

2月1日、獅子島の七郎山山頂を折り返す、獅子島ウォーク2015がありました。大会には、600人の定員に対し1300人を超える応募者の中から抽選で選ばれた、県内外の583人が参加。前日から獅子島内や本島内に宿泊する参加者も多く、スタートの数時間前から会場入りする参加者が見られました。

開会式では、岡下亮一実行委員長が「コースは急な上り坂でも、山頂で360度の大パノラマを見れば疲れも吹き飛ばさず。食と自然の宝庫、獅子島のおもてなしを堪能して」とあいさつしました。

この日は雲ひとつない好天に恵まれ、参加者の中には半袖で歩く姿もありました。急勾配な獅子島の林道。歩くとび険しい表情となった参加者ですが、コース途中や、山頂からの天草の島々の景色を眺めると、みな自然と笑顔になりました。

さつま町から参加した下境田真喜子さんは「天気が良くて、頂上からの眺めは最高。抽選で当たった特産品や参加賞のポンカンにも大満足」と話し、得永和秀さんは「心も体も満たされ、爽快な達成感を味わえた。獅子島の人も自然も最高」と充実した様子で島を後にしました。